

平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）



平成18年8月14日

上場会社名 **第一工業製薬株式会社**

(コード番号：4461 東証・大証第1部)

(URL <http://www.dks-web.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 津田章裕

問合せ先責任者 役職名 取締役財務本部長

氏名 妹尾寿和

TEL (075) 255-0900

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容)

法人税等の計上基準は、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満を切り捨てて表示しています)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	11,033	11.1	127 △	49.6	157 △	39.2	36 △	69.6
18年3月期第1四半期	9,929	5.6	253	17.6	259	19.5	119 △	12.1
(参考) 18年3月期	41,862		896		891		528	

	1株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第1四半期	0.93	
18年3月期第1四半期	3.41	3.05
(参考) 18年3月期	14.49	13.54

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期のわが国経済は、企業収益の改善に支えられて設備投資が引き続き堅調に推移すると共に、個人消費も雇用環境の改善から増加し、景気は回復を続けました。

一方、化学業界におきましては、国内外の需要は好調に推移していますが、長引く原油価格の高騰に伴う原材料価格の上昇やエネルギーコストの増加が企業収益を圧迫しております。

このような環境の中、当社グループは既存コア製品の市場開発に努めると共に、情報技術関連や環境保護関連などの成長分野における新規市場の開拓と新素材の開発に注力し、また原燃料価格の高騰に伴う製品価格の是正やコストダウンなどに努めてまいりました。

その結果、売上高につきましては、難燃剤や水系ウレタン樹脂などの『機能材料』や電子部品材料用途の導電性ペーストなどの『電子デバイス材料』のほか、セルロース系高分子材料などの『アメニティ材料』や非イオン活性剤などの『界面活性剤』の売上高が好調に推移しましたことから、当第1四半期の売上高は大きく増加し、110億33百万円（前年同期比11.1%増）となりました。

損益面につきましては、製品価格の是正や成長分野での市場開発に努めましたものの、原油価格の高騰による原材料費の増加が利益の圧迫要因となり、経常利益は1億57百万円（前年同期比39.2%減）、四半期（当期）純利益は36百万円（前年同期比69.6%減）となりました。

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりです。

[界面活性剤]

界面活性剤の売上高は、総じて順調に推移しました。

国内では、鉄鋼用途や紙・パルプ用途の活性剤は、低調となりましたが、金属工業用途や繊維工業用途の活性剤は堅調に推移し、ゴム・プラスチック用途やトイレタリー用途の活性剤は、新規開発が実り増加しました。

海外では、鉄鋼用途の活性剤や東南アジア向け繊維工業用途の活性剤は低調となりましたが、中国向けの繊維用途の活性剤や欧州向けの活性剤は好調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は、37億44百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

[アメニティ材料]

アメニティ材料の売上高は、総じて順調に推移しました。

国内では、セルロース系高分子材料は、農業用途や食品・医薬品用途は増加しましたが、繊維用途や土木用途は低調となりました。ショ糖脂肪酸エステルは、食品用途が天候不順の影響でやや低調に推移しました。ビニル系高分子材料は、香粧品用途やプラスチック用途の開発により大きく増加し、アクリル系高分子材料も、水処理用途が大きく増加しました。

海外では、セルロース系高分子材料は、アジア向けの食品用途や紙用途、米国向けの油井掘削用途が大きく増加しました。ショ糖脂肪酸エステルは、欧州向け化粧品用途や食品用途の開発が実り順調に増加しました。

その結果、当事業の売上高は、23億27百万円（前期比8.3%増）となりました。

[ウレタン材料]

ウレタン材料の売上高は、総じて順調に推移しました。

重防食塗料用途は、低調に推移しましたが、土木建築用途とウレタンフォーム用途は順調に増加しました。

その結果、当事業の売上高は、18億14百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

[機能材料]

機能材料の売上高は、総じて好調に推移しました。

国内では、光硬化樹脂用材料は、電子情報技術関連用途の新規開発が実り大きく増加しましたし、難燃剤も情報技術関連用途の需要拡大により大きく増加しました。水系ウレタン樹脂は、金属塗料用途が大きく増加し、プリント配線基板加工用樹脂も、順調に増加しました。

海外では、中国向け光硬化樹脂用材料は、電子情報技術関連用途の新規開発が実り増加しましたし、繊維用途の水系ウレタン樹脂も中国向けが増加しました。

その結果、当事業の売上高は、21億70百万円（前年同期比18.8%増）となりました。

[電子デバイス材料]

電子デバイス材料の売上高は、総じて好調に推移しました。

地球環境保護の動きに対応した電子部品材料用途の導電性ペーストが大きく増加しましたほか、エネルギーデバイス材料用途のイオン導電性ポリマーや射出成型用ペレットも大きく増加しました。

その結果、当事業の売上高は、9億77百万円（前年同期比51.7%増）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	43,565	16,026	35.2	392.51
18年3月期第1四半期	39,228	13,513	34.4	386.89
(参考) 18年3月期	41,770	15,758	37.7	403.55

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	235	△ 979	2,359	3,745
18年3月期第1四半期	185	△ 297	△ 785	2,400
(参考) 18年3月期	1,506	△ 2,317	△ 339	2,129

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて流動資産が12億81百万円増加し、固定資産が5億13百万円増加したため、17億95百万円の増加となりました。負債は、固定負債が21億46百万円増加したため、22億35百万円の増加となりました。また、自己資本比率は、2.5%低下し35.2%となりました。

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比較して16億15百万円増加し、37億45百万円となりました。各キャッシュ・フローとそれらの増減要因は次のとおりです。

営業活動により、資金は2億35百万円増加しました。これは、税金等調整前四半期（当期）純利益1億20百万円、減価償却費3億53百万円、たな卸資産の減少2億57百万円、売上債権の減少2億13百万円などにより資金が増加したのに対し、仕入債務の減少3億28百万円、法人税等の支払額1億49百万円などにより資金が減少したことによるものです。

投資活動により、資金は9億79百万円減少しました。これは、有形固定資産の取得9億74百万円などにより資金が減少したことによるものです。

財務活動により、資金は23億59百万円増加しました。これは、長期借入金の借り入れ30億円などにより資金が増加したのに対し、長期借入金の返済5億25百万円、配当金の支払額2億49百万円などにより資金が減少したことによるものです。

○ 添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書など

以上

[参考]

平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	21,600	530	240
通期	44,100	1,100	570

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 14円60銭

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

[業績予想に関する定性的情報等]

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年5月18日の決算発表時に公表した平成19年3月期中間期(平成18年4月1日～平成18年9月30日)及び通期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の個別の業績予想を下記のとおり修正いたします。

(1) 中間期の個別業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年5月18日発表)	18,600	410	210
今回修正予想(B)	19,000	230	160
増減額(B-A)	400	△180	△50
増減率(%)	2.2	△43.9	△23.8
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期中間)	16,620	337	218

(2) 通期の個別業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年5月18日発表)	38,000	820	380
今回修正予想(B)	38,800	480	310
増減額(B-A)	800	△340	△70
増減率(%)	2.1	△41.5	△18.4
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	34,222	556	381

(3) 修正の理由

売上高につきましては、前回予想を若干上回る見込みです。

経常利益及び当期純利益につきましては、原油価格の高騰による原材料費の増加が利益の大きな圧迫要因となっており、販売価格の是正や拡販努力等でカバーすることができないため、前回予想を下回る見込みです。

なお、連結業績につきましては、連結子会社等の業績が前回予想を大きく上回る状況で推移しており、個別業績の落ち込みをカバーする見込みであるため、連結業績予想は修正していません。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前第1四半期末		前連結会計年度末		当第1四半期末		増 減 (印減)
	(平成17年6月30日現在)		(平成18年3月31日現在)		(平成18年6月30日現在)		
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	
(資産の部)							
流動資産		%		%		%	
1.現金及び預金	2,400		2,129		3,745		1,615
2.受取手形及び売掛金	8,781		9,619		9,407		212
3.たな卸資産	5,995		6,393		6,121		272
4.繰延税金資産	565		438		451		12
5.その他の 貸倒引当金	877 2		666 5		803 5		137 0
流動資産合計	18,618	47.5	19,241	46.1	20,523	47.1	1,281
固定資産							
1.有形固定資産	15,331		15,924		16,840		916
2.無形固定資産	58		55		61		5
3.投資その他の資産	5,202		6,550		6,141		408
貸倒引当金	1		0		0		-
固定資産合計	20,590	52.5	22,529	53.9	23,042	52.9	513
繰延資産							
1.社債発行費	18		-		-		-
繰延資産合計	18	0.0	-	-	-	-	-
資産合計	39,228	100.0	41,770	100.0	43,565	100.0	1,795
(負債の部)							
流動負債							
1.支払手形及び買掛金	8,447		9,383		9,054		328
2.短期借入金	7,939		8,262		8,549		287
3.未払法人税等	176		185		50		135
4.賞与引当金	144		310		111		198
5.その他の 流動負債合計	1,902		1,415		1,879		464
流動負債合計	18,610	47.5	19,556	46.8	19,645	45.1	88
固定負債							
1.新株予約権付社債	1,352		-		-		-
2.長期借入金	4,555		4,821		7,145		2,323
3.繰延税金負債	37		516		382		134
4.退職給付引当金	113		73		75		1
5.連結調整勘定	51		22		19		2
6.その他の 固定負債合計	327		313		271		41
固定負債合計	6,437	16.4	5,748	13.8	7,894	18.1	2,146
負債合計	25,048	63.9	25,304	60.6	27,539	63.2	2,235
(少数株主持分)							
少数株主持分	667	1.7	707	1.7	-	-	-
(資本の部)							
資本金	5,985	15.3	6,650	15.9	-	-	-
資本剰余金	4,313	11.0	4,978	11.9	-	-	-
利益剰余金	3,160	8.1	3,549	8.5	-	-	-
その他有価証券評価差額金	328	0.7	789	1.9	-	-	-
為替換算調整勘定	85	0.2	17	0.0	-	-	-
自己株式	188	0.5	193	0.5	-	-	-
資本合計	13,513	34.4	15,758	37.7	-	-	-
負債、少数株主持分及び資本合計	39,228	100.0	41,770	100.0	-	-	-
(純資産の部)							
株主資本							
1.資本金	-	-	-	-	6,650	15.3	-
2.資本剰余金	-	-	-	-	4,978	11.4	-
3.利益剰余金	-	-	-	-	3,312	7.6	-
4.自己株式	-	-	-	-	193	0.4	-
株主資本合計	-	-	-	-	14,748	33.9	-
評価・換算差額等							
1.その他有価証券評価差額金	-	-	-	-	593	1.4	-
2.為替換算調整勘定	-	-	-	-	15	-	-
評価・換算差額等合計	-	-	-	-	577	1.3	-
少数株主持分	-	-	-	-	699	1.6	-
純資産合計	-	-	-	-	16,026	36.8	-
負債、純資産合計	-	-	-	-	43,565	100.0	-

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前第1四半期		当第1四半期		増 減 (印減)	前連結会計年度	
	〔 自 平成17年4月 1日 至 平成17年6月30日 〕		〔 自 平成18年4月 1日 至 平成18年6月30日 〕			〔 自 平成17年4月 1日 至 平成18年3月31日 〕	
	金 額	百 分 比	金 額	百 分 比		金 額	百 分 比
売 上 高	9,929	100.0	11,033	100.0	1,104	41,862	100.0
売 上 原 価	7,615	76.7	8,832	80.1	1,216	32,542	77.7
売 上 総 利 益	2,314	23.3	2,201	19.9	112	9,320	22.3
販売費及び一般管理費							
1. 販 売 費	1,091		1,068		23	4,444	
2. 一 般 管 理 費	968		1,005		36	3,979	
合 計	2,060	20.8	2,073	18.8	13	8,423	20.2
営 業 利 益	253	2.5	127	1.2	125	896	2.1
営 業 外 収 益							
1. 受 取 利 息	0		0		0	2	
2. 受 取 配 当 金	18		21		2	41	
3. 持分法による投資利益	23		35		12	131	
4. 固 定 資 産 賃 貸 料	1		6		5	4	
5. 匿 名 組 合 分 配 金	30		30		0	119	
6. そ の 他	34		64		29	192	
合 計	108	1.1	159	1.4	50	491	1.2
営 業 外 費 用							
1. 支 払 利 息	53		58		4	214	
2. 社 債 利 息	-		-		-	0	
3. た な 卸 資 産 処 分 損	5		19		14	53	
4. そ の 他	44		51		7	226	
合 計	103	1.0	129	1.2	26	496	1.2
経 常 利 益	259	2.6	157	1.4	101	891	2.1
特 別 利 益							
1. 投 資 有 価 証 券 売 却 益	80		-		80	216	
2. 固 定 資 産 売 却 益	-		-		-	24	
3. 持 分 変 動 利 益	-		-		-	16	
4. そ の 他	-		-		-	24	
合 計	80	0.8	-	-	80	281	0.7
特 別 損 失							
1. 固 定 資 産 処 分 損	49		35		13	105	
2. そ の 他	-		1		1	-	
合 計	49	0.5	37	0.3	11	105	0.2
税金等調整前四半期(当期)純利益	290	2.9	120	1.1	170	1,067	2.6
税 金 費 用	161	1.6	62	0.6	98	493	1.2
少 数 株 主 利 益	10	0.1	21	0.2	11	46	0.1
四半期(当期)純利益	119	1.2	36	0.3	82	528	1.3

3. 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別			
	前 第 1 四 半 期	当 第 1 四 半 期	増 減	前 連 結 会 計 年 度
	〔 自 平成17年4月 1日 〕 〔 至 平成17年6月30日 〕	〔 自 平成18年4月 1日 〕 〔 至 平成18年6月30日 〕	(印 減)	〔 自 平成17年4月 1日 〕 〔 至 平成18年3月31日 〕
	金 額	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 税金等調整前四半期（当期）純利益	290	120	170	1,067
2. 減 価 償 却 費	343	353	10	1,401
3. 連結調整勘定償却額	3	2	0	14
4. 貸倒引当金の増加額（は減少額）	0	0	0	2
5. 受取利息及び受取配当金	19	22	2	43
6. 支 払 利 息	53	58	4	215
7. 持分法による投資利益	22	34	11	131
8. 有形固定資産売却益	-	-	-	24
9. 有形固定資産処分損	49	35	13	105
10. 投資有価証券売却益	80	-	80	216
11. 売上債権の減少額（は増加額）	48	213	165	732
12. たな卸資産の減少額（は増加額）	475	257	732	807
13. 仕入債務の増加額（は減少額）	196	328	525	1,117
14. 退職給付引当金の増加額（は減少額）	1	0	1	43
15. そ の 他	22	221	198	57
小 計	357	430	72	1,838
16. 利息及び配当金の受取額	53	18	34	89
17. 利息の支払額	53	64	11	215
18. 法人税等の支払額	172	149	23	206
営業活動によるキャッシュ・フロー	185	235	50	1,506
投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 有形固定資産の売却による収入	-	-	-	25
2. 有形固定資産の取得による支出	255	974	719	2,012
3. 投資有価証券の売却による収入	145	-	145	416
4. 投資有価証券の取得による支出	-	-	-	480
5. 関係会社株式の取得による支出	165	-	165	302
6. 貸付金の回収による収入	72	29	43	182
7. 貸付による支出	95	40	55	165
8. そ の 他	0	5	5	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	297	979	682	2,317
財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 短期借入金の純増加額（は減少額）	25	135	161	26
2. 長期借入れによる収入	-	3,000	3,000	1,960
3. 長期借入金の返済による支出	569	525	43	2,036
4. 新株予約権付社債の償還による支出	-	-	-	21
5. 自己株式の売却による収入	-	-	-	0
6. 自己株式の取得による支出	-	0	0	4
7. 配当金の支払額	190	249	58	209
8. 少数株主への配当金の支払額	-	-	-	54
財務活動によるキャッシュ・フロー	785	2,359	3,145	339
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-	-	0
現金及び現金同等物の増加額（は減少額）	898	1,615	2,513	1,151
現金及び現金同等物の期首残高	3,298	2,129	1,168	3,298
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	-	-	27
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	-	-	44
現金及び現金同等物の期末残高	2,400	3,745	1,345	2,129

事業の種類別セグメント情報

前第1四半期（自平成17年4月1日 至 平成17年6月30日）（単位：百万円）

	界面活性剤	アメニティ材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス材料	計	消去又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	3,564	2,149	1,743	1,826	644	9,929	-	9,929
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	(-)	-
計	3,564	2,149	1,743	1,826	644	9,929	(-)	9,929
営業費用	3,440	2,074	1,754	1,720	685	9,675	-	9,675
営業利益	124	74	11	106	41	253	(-)	253

当第1四半期（自平成18年4月1日 至 平成18年6月30日）（単位：百万円）

	界面活性剤	アメニティ材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス材料	計	消去又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	3,744	2,327	1,814	2,170	977	11,033	-	11,033
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	(-)	-
計	3,744	2,327	1,814	2,170	977	11,033	(-)	11,033
営業費用	3,662	2,356	1,856	2,076	953	10,906	-	10,906
営業利益(印は営業損失)	81	29	42	93	23	127	(-)	127

前連結会計年度（自平成17年4月1日 至 平成18年3月31日）（単位：百万円）

	界面活性剤	アメニティ材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス材料	計	消去又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	14,945	8,660	7,319	8,025	2,912	41,862	-	41,862
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	(-)	-
計	14,945	8,660	7,319	8,025	2,912	41,862	(-)	41,862
営業費用	14,527	8,557	7,310	7,562	3,008	40,966	-	40,966
営業利益(印は営業損失)	418	102	8	462	95	896	(-)	896

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法については、製品の組成及び製造方法に応じて、界面活性剤、アメニティ材料、ウレタン材料、機能材料、電子デバイス材料に区分しています。

2. 各事業の主な製品

事業区分	主要製品
界面活性剤	非イオン活性剤、アニオン活性剤、カチオン活性剤、両性活性剤
アメニティ材料	シヨ糖脂肪酸エステル、セルロース系高分子材料、ビニル系高分子材料、アクリル系高分子材料
ウレタン材料	ポリエーテルポリオール、ウレタンプレポリマー、ウレタンシステム
機能材料	光硬化樹脂用材料、水系ウレタン樹脂、難燃剤、アミド系滑剤
電子デバイス材料	電子部品用導電性ペースト、射出成形用ペレット、イオン導電性ポリマー

4. (要約) 四半期個別貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前第1四半期末		前事業年度末		当第1四半期末		増 減 (印減)
	(平成17年6月30日現在)		(平成18年3月31日現在)		(平成18年6月30日現在)		
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額
(資産の部)							
流動資産		%		%		%	
1.現金及び預金	2,029		1,886		3,446		1,559
2.受取手形及び売掛金	7,102		8,267		7,945		322
3.たな卸資産	5,105		5,434		5,156		277
4.繰延税金資産	497		395		372		22
5.その他	965		980		1,032		51
流動資産合計	15,700	44.1	16,964	44.2	17,954	44.9	989
固定資産							
1.有形固定資産	13,936		14,401		15,347		945
2.無形固定資産	32		71		76		4
3.投資その他の資産	5,937		6,963		6,617		345
貸倒引当金	0		0		0		-
固定資産合計	19,905	55.9	21,436	55.8	22,041	55.1	604
繰延資産							
1.社債発行費	18		-		-		-
繰延資産合計	18	0.0	-	-	-	-	-
資産合計	35,625	100.0	38,401	100.0	39,995	100.0	1,594
(負債の部)							
流動負債							
1.支払手形及び買掛金	7,512		8,860		8,360		500
2.短期借入金	6,906		7,158		7,326		168
3.未払法人税等	121		133		21		112
4.賞与引当金	129		279		95		183
5.その他	1,768		1,218		1,726		508
流動負債合計	16,438	46.1	17,650	46.0	17,529	43.8	120
固定負債							
1.新株予約権付社債	1,352		-		-		-
2.長期借入金	4,481		4,783		7,107		2,324
3.繰延税金負債	34		516		382		133
4.退職給付引当金	96		38		38		-
5.その他	113		113		81		31
固定負債合計	6,078	17.1	5,451	14.2	7,609	19.1	2,158
負債合計	22,516	63.2	23,101	60.2	25,139	62.9	2,037
(資本の部)							
資本金	5,985	16.8	6,650	17.3	-	-	-
資本剰余金	4,313	12.1	4,978	13.0	-	-	-
利益剰余金	2,673	7.5	3,079	8.0	-	-	-
その他有価証券評価差額金	325	0.9	783	2.0	-	-	-
自己株式	188	0.5	193	0.5	-	-	-
資本合計	13,108	36.8	15,299	39.8	-	-	-
負債、資本合計	35,625	100.0	38,401	100.0	-	-	-
(純資産の部)							
株主資本							
1.資本金	-	-	-	-	6,650	16.6	-
2.資本剰余金	-	-	-	-	4,978	12.4	-
3.利益剰余金	-	-	-	-	2,832	7.1	-
4.自己株式	-	-	-	-	193	0.5	-
株主資本合計	-	-	-	-	14,267	35.6	-
評価・換算差額等							
1.その他有価証券評価差額金	-	-	-	-	587	1.5	-
評価・換算差額等合計	-	-	-	-	587	1.5	-
純資産合計	-	-	-	-	14,855	37.1	-
負債、純資産合計	-	-	-	-	39,995	100.0	-

5. (要約) 四半期個別損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前第1四半期		当第1四半期		増 減 (印減)	前事業年度	
	〔 自平成17年4月1日 至平成17年6月30日 〕		〔 自平成18年4月1日 至平成18年6月30日 〕			〔 自平成17年4月1日 至平成18年3月31日 〕	
	金 額	百 分 比	金 額	百 分 比	金 額	金 額	百 分 比
売 上 高	8,110	100.0	9,381	100.0	1,270	34,222	100.0
売 上 原 価	6,396	78.9	7,673	81.8	1,277	27,329	79.9
売 上 総 利 益	1,714	21.1	1,707	18.2	6	6,892	20.1
販売費及び一般管理費							
1. 販 売 費	792		846		53	3,272	
2. 一 般 管 理 費	795		839		44	3,209	
合 計	1,587	19.5	1,686	18.0	98	6,481	18.9
営 業 利 益	126	1.6	21	0.2	105	410	1.2
営 業 外 収 益							
1. 受 取 利 息	0		2		1	7	
2. 受 取 配 当 金	120		86		34	245	
3. 固 定 資 産 賃 貸 料	13		19		6	65	
4. 匿 名 組 合 分 配 金	30		30		0	119	
5. そ の 他	22		27		5	139	
合 計	186	2.3	167	1.8	19	577	1.7
営 業 外 費 用							
1. 支 払 利 息	47		48		1	186	
2. 社 債 利 息	-		-		-	0	
3. た な 卸 資 産 処 分 損	5		-		5	51	
4. そ の 他	39		46		7	192	
合 計	92	1.2	95	1.0	3	431	1.3
経 常 利 益	221	2.7	92	1.0	128	556	1.6
特 別 利 益							
1. 投 資 有 価 証 券 売 却 益	80		-		80	216	
2. 固 定 資 産 売 却 益	-		-		-	22	
合 計	80	1.0	-	-	80	238	0.7
特 別 損 失							
1. 固 定 資 産 処 分 損	49		35		13	90	
2. 投 資 有 価 証 券 評 価 損	-		-		-	16	
3. そ の 他	-		1		1	-	
合 計	49	0.6	37	0.4	11	106	0.3
税金等調整前四半期(当期)純利益	253	3.1	55	0.6	197	688	2.0
税 金 費 用	110	1.3	30	0.3	80	307	0.9
四半期(当期)純利益	142	1.8	25	0.3	117	381	1.1